



仙厓「虎張り子図」。仙厓ファンならば、虎と童子の絵はどうしても欲しいところだ。その両方が楽しめるこの絵はうれしかった。画賛は童子のことではあろう。「張り子の虎が出た ヤア ヤア」。この絵の虎は張り子である。張り子ならではの揺れる首が描かれている。そのあたりの描写の正確さも注目しておきたい。博多では、男子の初節句に虎の張り子を贈る風習があった。大きいものはこどもがまたがることができるほど頑丈だったという。この虎の張り子はまさにそれではないか、と思う。博多を愛し、こどもを愛す仙厓の面目躍如の絵である。

博多の祭、どんたくに虎の張り子が登場するという。その場面である可能性もある。（小澤 實）

澤 5 月号 目次

樹皮 高橋博子

一足目 仲 白良

百五年目 片岡昌子

LOVE の字 矢鳥俊缶

二割引 栗生

澤俳句鑑賞 288

岩田 奎……………20

森下秋露……………22

小澤 實句集『澤』の一句
鑑賞原稿募集のお知らせ……………4

澤通信句会のお知らせ……………6

小澤 實 有為の奥山 十五句……………10

高橋睦郎 季語練習帖 第一七三回……………12

潺湲集 小澤 實選……………14

ダダダ 梶等太郎 ざらざら 中村 麻

耳 岡本春水 狐火 眞瀬雪延

三日月 吉田邦幸 いそぎんちやく 川上弘美

桃の花 千国多美絵 福はー能登 篠田じゅん子

長女われ 野崎海芋 羸 結城あき

はうたう 椎野順子 鋤簾 天野正子

窓
俳書を読む

千葉皓史『家族』／歌代美遥『ひらひらと』／

大竹多可志『日立』／前田攝子『大桜』／和田 桃『蝶』

木内緒太……………24

詩文学芸書を読む

白央篤司『名前のない鍋、きょうの鍋』

根岸哲也……………26

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳壇」「俳句四季」各三月号 今朝……………28

俳句結社誌を読む

「銀化」令和五年九月号 梶等太郎……………30

定例会の秀句 服部つぐみ……………32

通信句会の秀句 蔵田かをり……………34

仙厓のこと 十四 栗生……………36

潺潺集巻頭作家エッセイ 小日向美春……………38

澤集巻頭作家インタビュー 中山あい……………39

同人代表句 朱雨／川又憲次郎……………40

同人一句鑑賞 椎野順子／大堀 柔……………41

澤研……………42

澤四十句 小澤 實選……………44

選後独言 不思議な気分 小澤 實……………46

澤集 小澤 實選……………48

大堀 柔／上林七葉／喜心／中山あい／戸田典々／平嶋さ
やか／児玉史湖／南 幸佑／蔵田かをり／新村秀人／山中
広海／兒玉猫只／加納 燕

消息……………81

新入会員／「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ
／4月号発送報告……………82

第243・244回定例会6月ご案内……………83

澤俳句叢書一覽……………85
雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／
澤基金募集のお願い……………86

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………87

澤句会・カルチャー一覽……………88

広告……………89
後記……………94

デザインⅡ山口信博＋玉井一平
写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

澤|
令和6年5月1日発行
澤| 俳句会
頒価 1,200円